

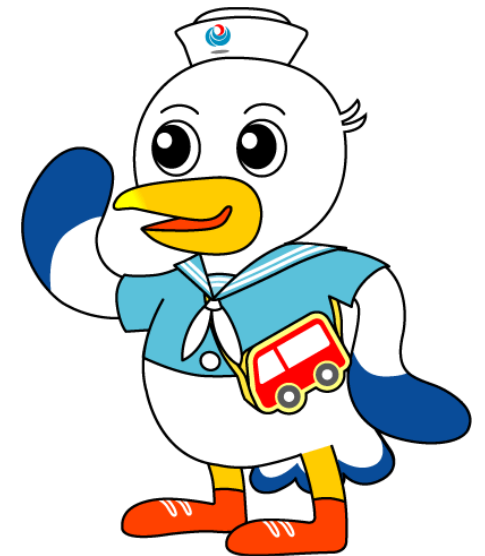
令和5年8月31日

令和5年度 きんき脱炭素チーム会合資料

神戸運輸監理部における 脱炭素にむけた取組

神戸運輸監理部 企画推進本部 交通みらい室

(総務企画部 物流施設対策官)



マスコットキャラクター
こうべえ

1. 普及啓発活動(大学生向け) 令和4年度交通環境教育プログラムの実施

我が国の喫緊の課題である地球温暖化防止をはじめとした環境問題の解決に向け、交通運輸モード、とりわけ物流分野における取り組みの現状や課題等について紹介し、次世代において環境問題解決の担い手となる若い人材に環境問題等について関心を持ってもらうことを目的として、平成24年度から継続して開催。今回は10回目。

令和4年度の実施概要

【テーマ】 冷蔵倉庫の完全無人化に挑む！

【日時】 令和5年1月13日(金) 13:00～17:00

【場所】 森本倉庫(株) 六甲アイランド営業所(神戸市東灘区)
六甲アイランド冷蔵倉庫(神戸市東灘区)

【対象】 神戸大学海事科学部 学生 15名

【内容】 物流事業者による説明、施設見学、ワークショップ

- 【概要】 ①森本倉庫(株)から、冷蔵倉庫の概要や入庫から出庫までの作業工程について説明。
②冷蔵倉庫で、トラックからの荷物の積みおろし、保管、ピッキング、検品、出庫の様子や、一部に導入されている最新式の自動倉庫を見学することにより、現場の様子を体感。
③学生は、2班に分かれ、ワークショップ実施。冷蔵倉庫の見学で感じた課題や気づきをふまえて、倉庫内のどの作業で自動化が望まれるのか、自動化をするための方法について、議論・検討し、とりまとめ、班ごとに発表。

※参加した学生からは、「今までに見学した物流関連施設の中で一番機械化が進んでいて面白かった。」「完全無人化に向けた取り組みのなかで、課題はたくさんあることを実際に目で見て知ることができた。」「ワークショップを通して改めて課題を考えることができた。」等の声が寄せられ、学生の物流・環境への見識を深める契機となった。



事業者の説明



冷蔵倉庫見学



ワークショップ

普及啓発活動(児童・生徒向け) 令和4年度交通環境教室の実施

公共交通が人や社会、環境にやさしい乗り物であることを理解してもらい、自発的に人や環境にやさしい行動を選択できる人材を育てるとともに、バスの乗降体験を通じて、公共交通に対する関心を高め、利用促進につなげることを目的として、管内の小中学生を対象に開催したバリアフリー教室やバスの乗り方教室に合わせて、「交通環境教室」を3回開催した。

- 日 時 : 令和4年7月28日
- 場 所 : 神姫バス(株)西脇営業所
- 参加者 : 小学生11名、保護者7名
- 協 力 : 神姫バス株式会社

- 日 時 : 令和4年9月27日
- 場 所 : 姫路市立神南中学校
- 参加者 : 中学1年生 57名
- 協 力 : 神姫バス株式会社

- 日 時 : 令和4年11月22日
- 場 所 : 神戸市立神出小学校
- 参加者 : 小学2年生 20名
- 協 力 : 神姫バス株式会社

神姫バス(株)西脇営業所



教室では、当部職員やバス乗務員が講師となり、バスが車等に比べて、「人と環境にやさしい乗り物」であることを説明するとともに、バス車内の様々な設備が誰でも利用しやすいように工夫や配慮がなされていることも説明し、公共交通への関心を促している。